

# 衆議院総務委員会ニュース

平成 20.5.20 第 169 回国会第 20 号

5 月 20 日、第 20 回の委員会が開かれました。

- 1 消防法及び消防組織法の一部を改正する法律案（内閣提出第 63 号）（参議院送付）
- ・増田総務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
  - ・増田総務大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成 自民、民主、公明、共産、社民、国民）
  - ・今井宏君外 4 名（自民、民主、公明、共産、社民）から提出された附帯決議案について、黄川田徹君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。  
（賛成 - 自民、民主、公明、共産、社民、国民）

（質疑者及び主な質疑内容）

## 榎屋敬悟君（公明）

- ・緊急消防援助隊の体制・装備の拡充の必要性に対する大臣の所見を伺いたい。
- ・消防団員数の確保の必要性に対する認識及び現行の確保策の内容を伺いたい。
- ・市町村消防の広域化の状況及び支援策の内容を伺いたい。
- ・消防法上の危険物の対象に含まれない気体（ガス）についても、その危険性にかんがみ、関係省庁と連携して対策に当たる必要があると思われるがいかがか。

## 田嶋要君（民主）

- ・大規模地震の発生が切迫している中、危険物施設の事故防止対策について、今回の法改正で危険物流出事故の原因調査の権限を創設するだけで十分であると考えるか。
- ・政令で定めている屋外タンク貯蔵所の耐震改修期限を繰り上げる考えはないか。
- ・消防団員の確保に当たり裁判員制度等にならぬ、協力は地域住民の義務という観点から施策を展開すべきではないか。
- ・消防団員の士気を高める観点から消防団員を「社会機能維持者」として位置づけ、優先的に新型インフルエンザのワクチンの接種が受けられるよう制度化を図るべきではないか。

## 森本哲生君（民主）

- ・危険物施設における危険物流出等の事故に関する調査体制の構築のため、新たなスタッフや財政措置を必要とするのか。
- ・市町村の消防力整備のため、地方公共団体の一般財源を充実させる必要があると思うがいかがか。

- ・屋外タンク貯蔵所改修費用の見積もりと企業経営への影響について伺いたい。

## 塩川鉄也君（共産）

- ・屋外タンク貯蔵所に係る危険物漏洩事故が増加した理由及び背景についてどのように認識しているか。
- ・屋外タンク貯蔵所に係る立入検査の件数はどうなっているか。

## 重野安正君（社民）

- ・公立学校における耐震化の状況及び今後の計画はどのようになっているのか。
- ・はしご消防車のオーバーホール（分解点検）の実施状況についてどのように認識しているか。